

細胞外液補充液
酢酸リンゲル液処方箋医薬品^{注)}

日本標準商品分類番号

873319

貯法：室温保存
使用期限：外箱、容器に表示承認番号 22900AMX00671
薬価収載 2017年12月
販売開始 2017年12月注)注意－医師等の処方箋により使用する
ることリナセート[®]F 輸液
RINACETO[®]F

[組成・性状]

1. 組成

本剤は下記の成分を含有する。

成分	1袋(500mL)中
塩化ナトリウム	3.0g
塩化カリウム	0.15g
塩化カルシウム水和物	0.10g
酢酸ナトリウム水和物	1.90g
添加物	1袋(500mL)中
希塩酸(pH調節剤)	適量

電解質濃度(mEq/L)

Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	Acetate ⁻
130	4	3	109	28

2. 性状

本剤は無色澄明の液である。

pH	浸透圧比*
6.5~7.5	約1

※生理食塩液に対する比

剤形：水性注射剤

[効能・効果]

循環血流量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正、代謝性アシドーシスの補正

[用法・用量]

通常、成人1回500mL~1,000mLを点滴静注する。
投与速度は1時間あたり10mL/kg体重以下とする。
なお、年齢、症状、体重に応じて適宜増減する。

[使用上の注意]

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)腎疾患に基づく腎不全のある患者
[酸塩基平衡の異常、電解質異常が起こることがある。]
- (2)心不全のある患者
[体液量の過剰により心負荷を起こすことがある。]
- (3)高張性脱水症の患者
[細胞内、組織間液が増加し浮腫を起こすことがある。]
- (4)閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者
[体液量が過剰となることがある。]

2. 副作用

本品は、使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
大量・急速投与	脳浮腫、肺水腫、末梢の浮腫

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

4. 適用上の注意

(1)投与前

- 1)完全に澄明でないものは使用しないこと。
- 2)開封後は速やかに使用し、残液は決して使用しないこと。

(2)調製時

- 1)本剤はカルシウムを含有するため、クエン酸加血液と混合すると凝血を起こすおそれがあるので注意すること。
- 2)リン酸イオン及び炭酸イオンと沈殿を生じるので、リン酸又は炭酸を含む製剤と配合しないこと。

[薬効薬理]

ヒトおよびイヌを用いた試験から、酢酸ナトリウムは、アルカリ化剤として速やかに利用される塩基源であること、及び酢酸ナトリウムの代謝臓器は全身に分布し、極めて速やかに代謝されることより、代謝性アシドーシスの治療に有益であることが報告されている。¹⁾さらに、酢酸加リンゲル液を術中輸液として使用した報告より、酸塩基平衡の是正に有用であることが認められている。²⁾

[取扱い上の注意]

1. 使用方法

- (1)容器表面に水滴や結晶が付着している場合には使用しないこと。
- (2)通気針は不要。
- (3)ゴム栓を保護しているシールがはがれているときは使用しないこと。
- (4)混注する場合、注射針の刺針はゴム栓の周囲にある刺針部(凹部)を使用し、まっすぐ刺し入れること。斜めに刺すと、ゴム栓や排出口内壁の削り片が薬液中に混入したり、容器を刺通し液漏れの原因となることがある。また、同一箇所を繰り返し刺さないこと。
- (5)輸液セットの瓶針はゴム栓の中央部の刺針部(凹部)にまっすぐ刺し入れること。
- (6)容器の目盛りは目安として使用すること。
- (7)本製品は、連結管(U字管)を用いたタンデム方式による投与はできないので、2バッグを同時又は連続して投与する場合は、Y型タイプの輸液セットを使用すること。

2. 安定性試験

最終包装製品を用いた加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヵ月)の結果、通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

[包装]

500mL×20袋(プラスチックバッグ)

[主要文献]

- 1) Mudge, G.H., et al.: Proc. Soc. Exp. Biol. Med., 71, 136, 1949
- 2) 谷藤泰正 他: 麻酔, 32, 1347, 1983

[文献請求先]

株式会社 陽進堂 お客様相談室
富山県富山市婦中町萩島3697番地8号
☎ 0120-647-734

製造販売元

エイワイファーマ株式会社
東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号

販売元

 株式会社 陽進堂
富山県富山市婦中町萩島3697番地8号